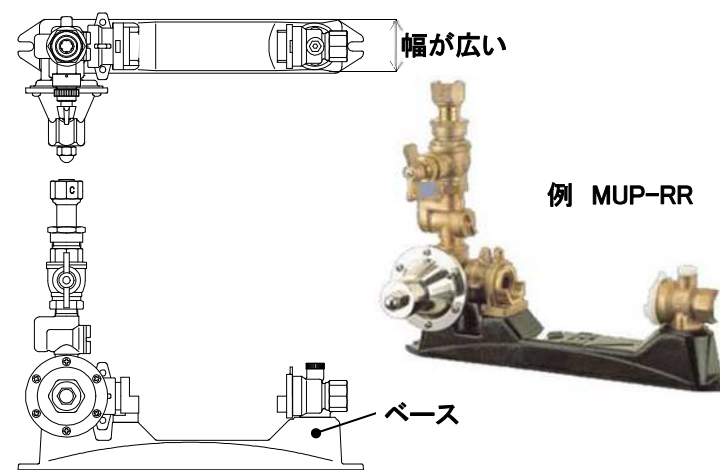


確認① ベース幅

細い(幅 17~20)



太い (幅 49~54)



型式 : SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcE、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、SMUP II-A GSG、SMUP II-A GRc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUP II RcSG、RMUP II RcESG、RMUP II Rc、RMUP II RcE、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、RMUP II GSG、RMUP II GRc

Oリング : P-20

注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A」を参照してください。

型式 : MUP-VSS、MUP-VAS、MUP-VSA、MUP-VAA

Oリング : JASO1016

注意 Oリング交換の際は

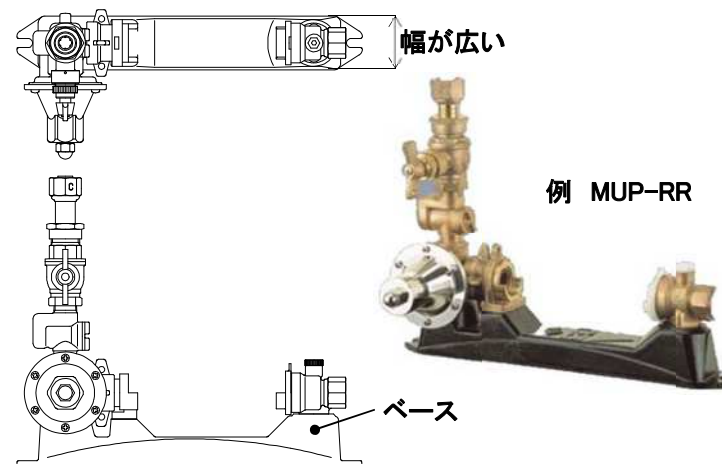
「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B」を参照してください。

確認① ベース幅

細い(幅 17~20)



太い (幅 49~54)



型式: MUP(A)-VAS、MUP(A)-VAS(I)、MUP(A)-VAA、MUPR(A)-R、MUPR(A)-R(I)、MUPR(A)-RA、MUPR(A)-L、MUPR(A)-L(I)、MUPR(A)-LA、MUP-RD、SMUP-VS-SG、SMUP-VS-S、SMUP-VS-A、SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、MUP-R・FD、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A RcEG、SMUP II-A RcE、SMUP II-A GSG、SMUP II-A G、SMUP II-A GRc、RMUP II RcSG、RMUP II RcG、RMUP II Rc、RMUP II RcESG、RMUP II RcEG、RMUP II RcE、RMUP II GSG、RMUP II G、RMUP II GRc、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUPLT-RcSG、RMUP II-S RcESG、RMUP II-S RcE、MUP-R・FN-QJ

型式: MUP-VSS、MUP-VAS、MUP-VSA、MUP-VAA、MUP-RR、MUP-RL

Oリング : JASO2023

注意 Oリング交換の際は

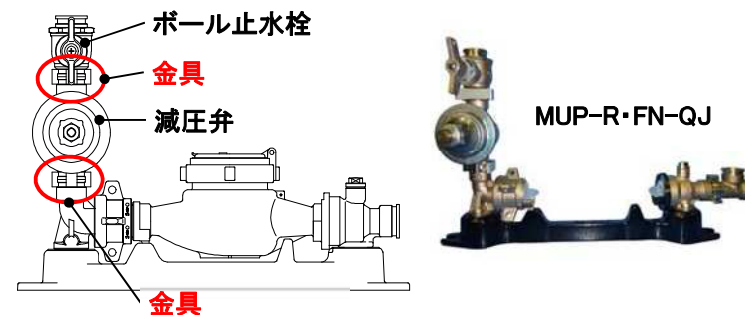
「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B」を参照してください。

確認② ASSY の接続形状

ボール止水栓、減圧弁がナットで接続されている



ボール止水栓、減圧弁が金具で接続されている



型式：MUP(A)-VAS、MUP(A)-VAS(I)、MUP(A)-VAA、MUPR(A)-R、MUPR(A)-R(I)、MUPR(A)-RA、MUPR(A)-L、MUPR(A)-L(I)、MUPR(A)-LA、MUP-RD、SMUP-VS-SG、SMUP-VS-S、SMUP-VS-A、SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、MUP-R·FD、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A RcEG、SMUP II-A RcE、SMUP II-A GSG、SMUP II-A G、SMUP II-A GRc、RMUP II RcSG、RMUP II RcG、RMUP II Rc、RMUP II RcESG、RMUP II RcEG、RMUP II RcE、RMUP II GSG、RMUP II G、RMUP II GRc、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUPLT-RcSG、RMUP II-S RcESG、RMUP II-S RcE

○リング：JASO2026

型式：MUP-R·FN-QJ

○リング：JASO2021 又は P-21

注意 ○リング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ ○リング交換手順 C」を参照してください。

注意 ○リング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ ○リング交換手順 A」を参照してください。

確認① ベース幅

細い(幅 25~29)



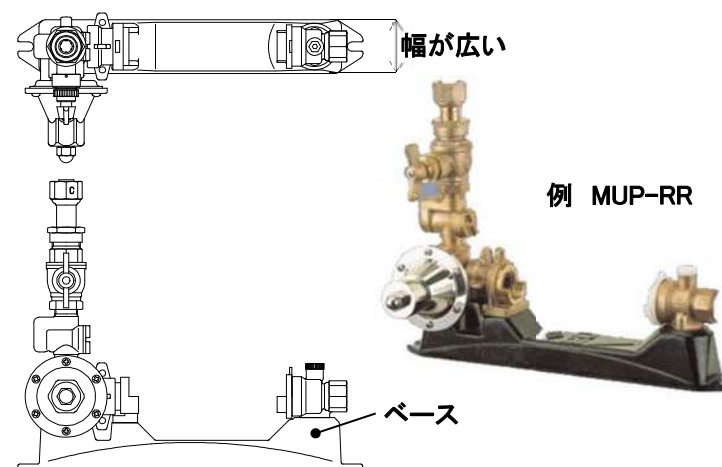
型式 : SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcE、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、SMUP II-A GSG、SMUP II-A GRc、RMUP II RcSG、RMUP II RcESG、RMUP II Rc、RMUP II RcE、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、RMUP II GSG、RMUP II GRc、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc

Oリング : P-34

注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A」を参照してください。

太い(幅 67~73)



型式 : MUP-VSS、MUP-VAS、MUP-VSA、MUP-VAA

Oリング : P-28

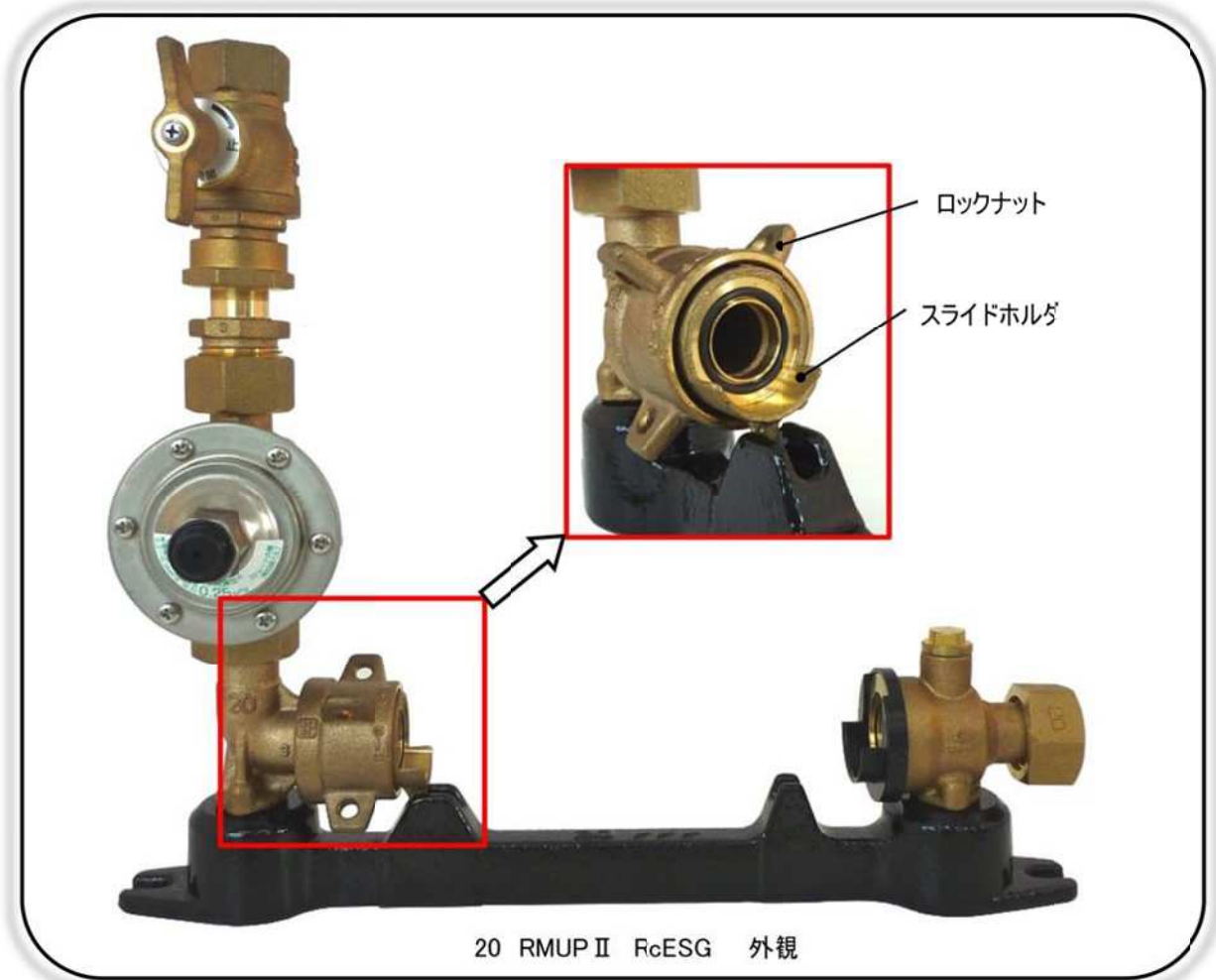
注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B」を参照してください。

メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A

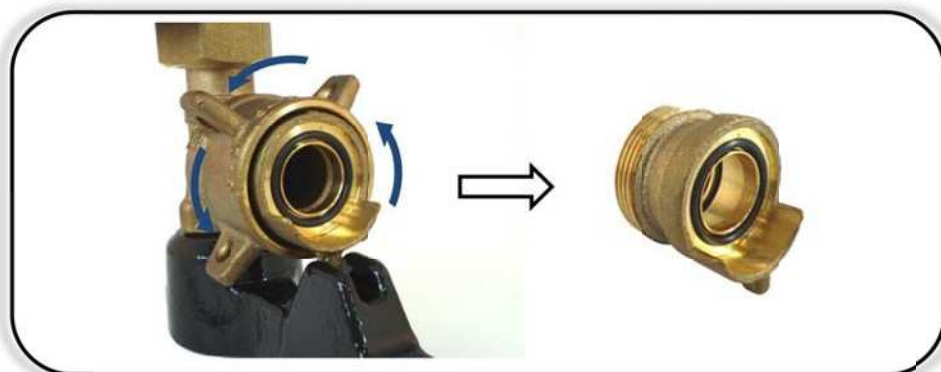
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP II RcESG」で行っていますが、RMUP、SMUP、SMUP II も同様の手順で交換できます。

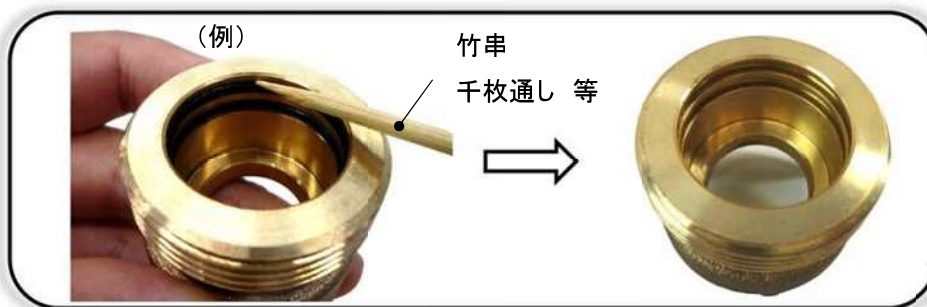


交換手順

1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。

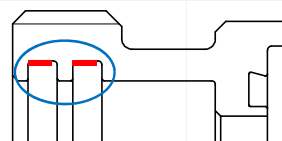


2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて Oリングを外す。



(注) 装着されている Oリングは **1本** の場合もあります。

(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
○印内の**赤太線面**に傷つかないように注意する。

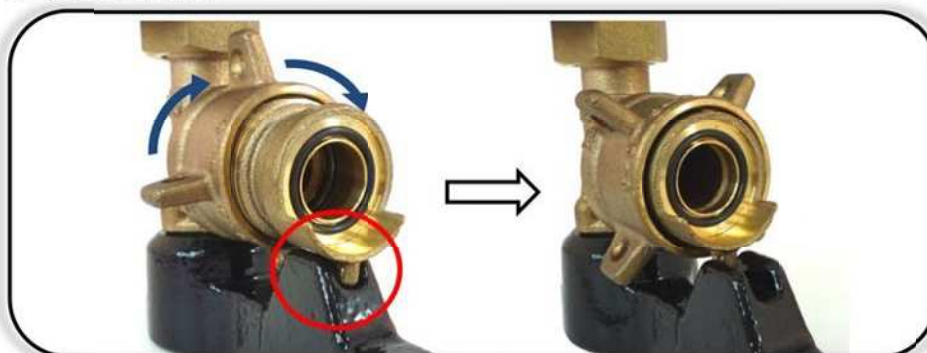


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜 (綿棒、ウエス等) 拭き取ってください。

3. 新しい Oリングにグリスを塗り、Oリングの先端を Oリング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて (○印)、ロックナットを**矢印**のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



(注) RMUP、SMUP の場合は、スライドホルダにある目印 (○印) を下に向け、
ロックナット内にある回り止めを探りながらロックナットを回し、スライドホルダ
を後退させる。

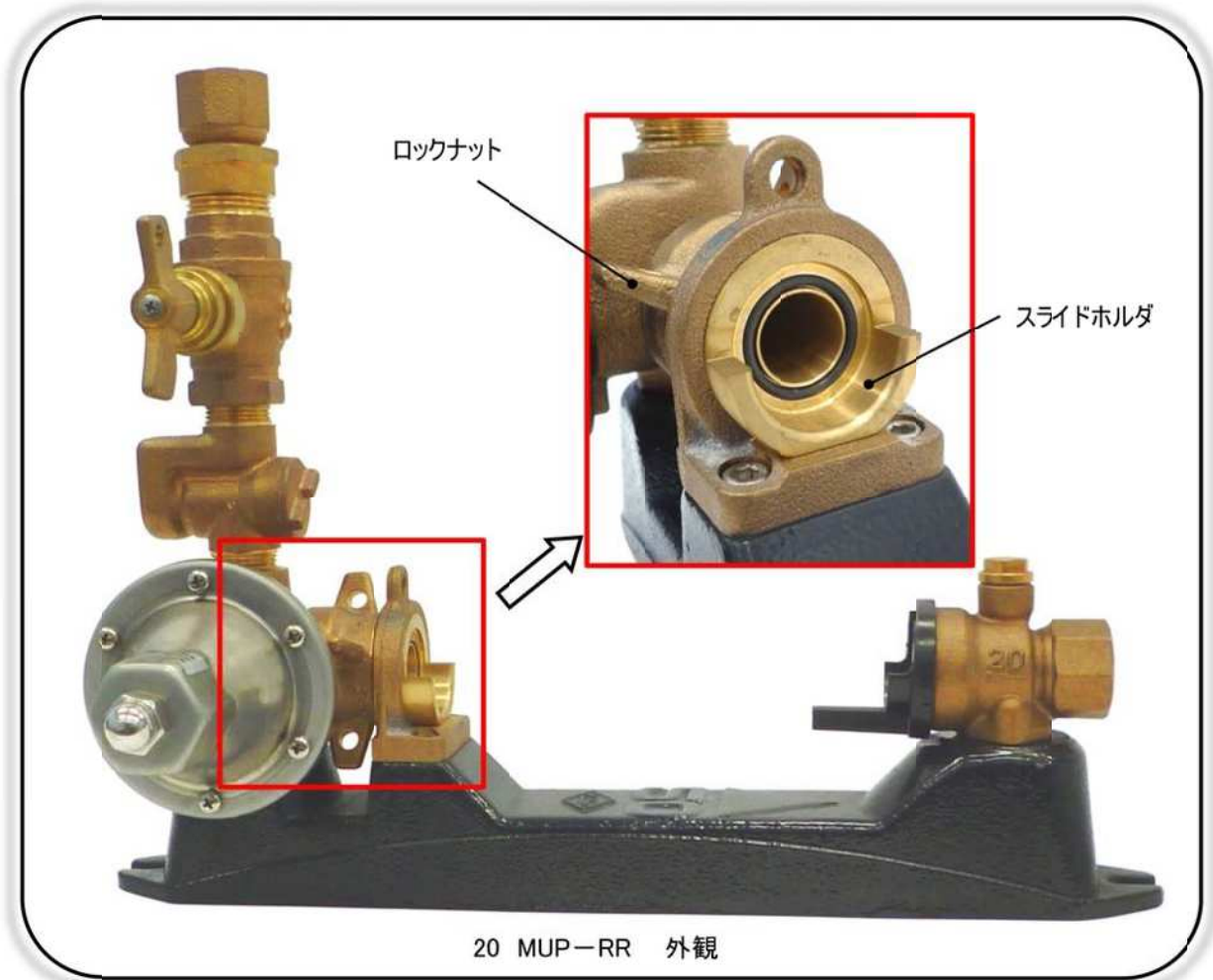
目印を下に向ける。



メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B

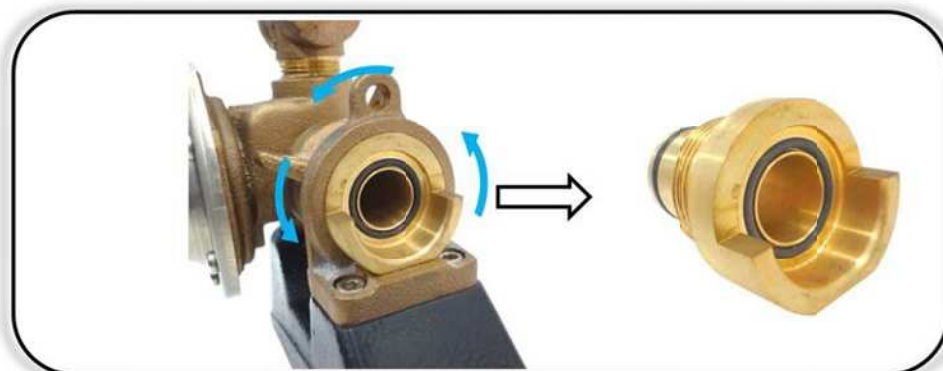
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 MUP-RR」で行っていますが、MUP-RL、MUP-VAS 等も同様の手順で交換できます。

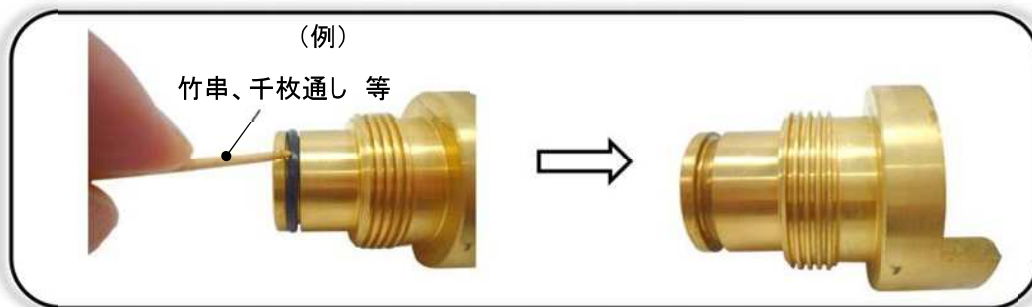


交換手順

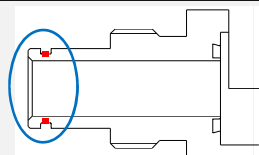
1. ロックナットを**矢印**の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて Oリングを外す。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
○印内の赤太線面に傷がつかないように注意する。

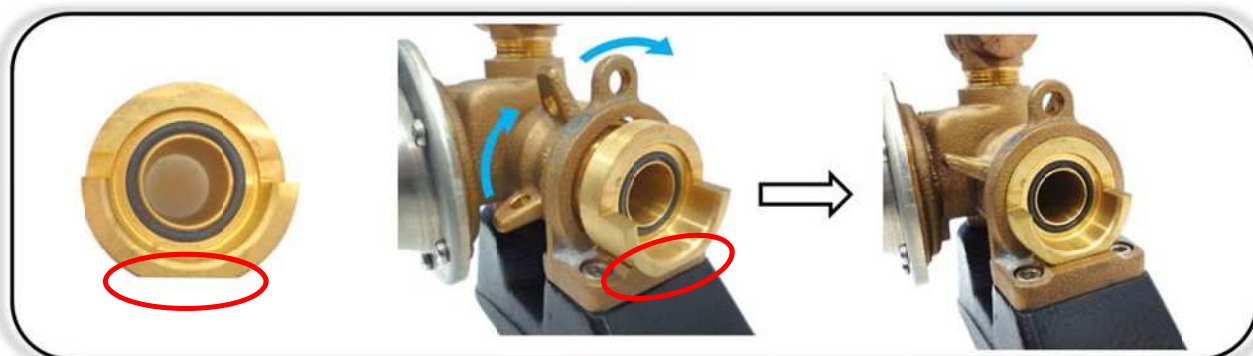


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜 (綿棒、ウエス等) 拭き取ってください。

3. 新しい Oリングにグリスを塗り、Oリングを Oリング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。

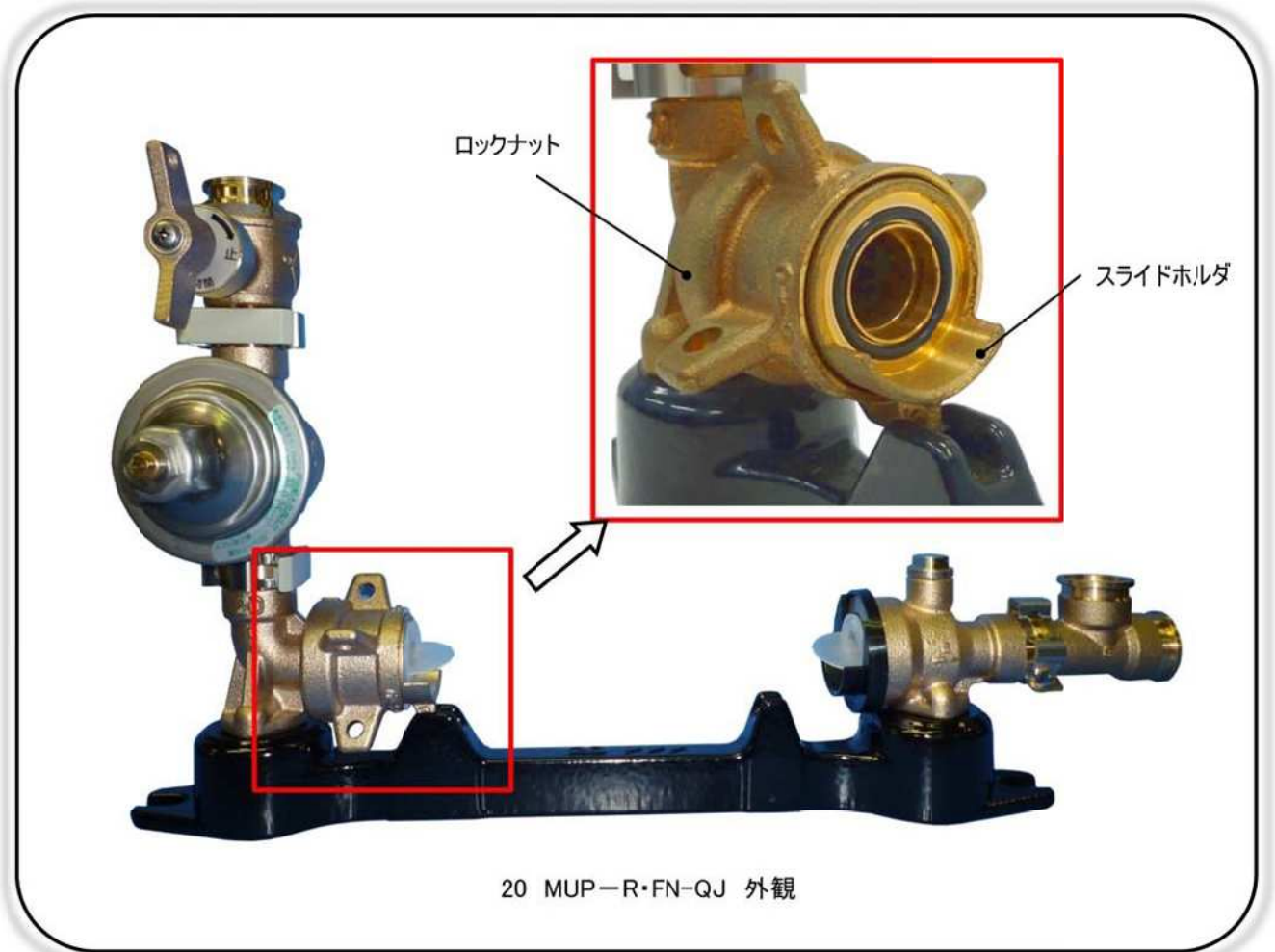


4. スライドホルダを手で持ち、平面部を下側にして(○印)、ロックナットを矢印のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



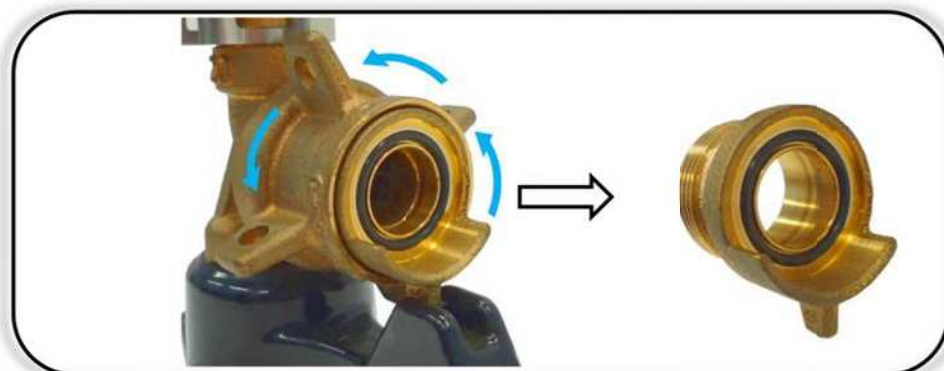
メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 C

株式会社 日邦バルブ

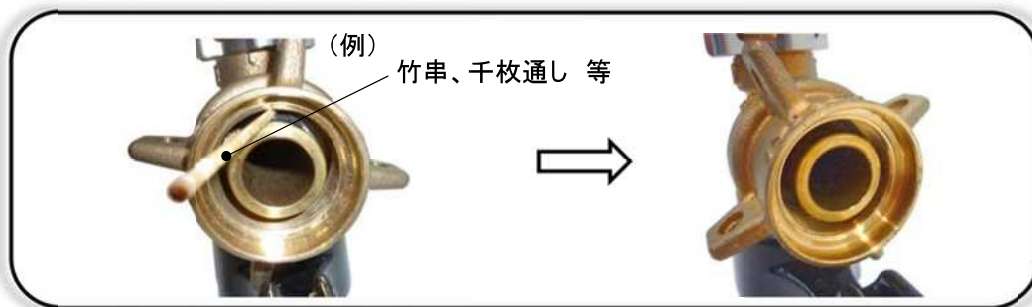


交換手順

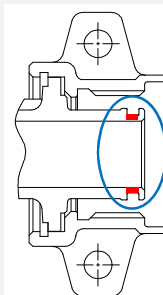
1. ロックナットを**矢印**の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



2. ロックナット内部の O リングを、先端が尖っているものを用いて外す。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
○印内の赤太線面に傷がつかないように注意する。
(注) 先曲がりの工具(右写真)を使用すると取りやすくなります。

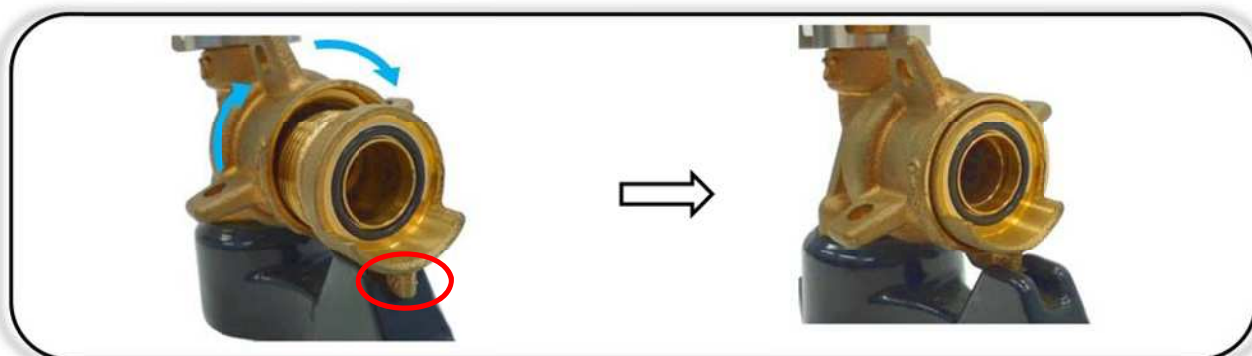


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等)拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングを O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



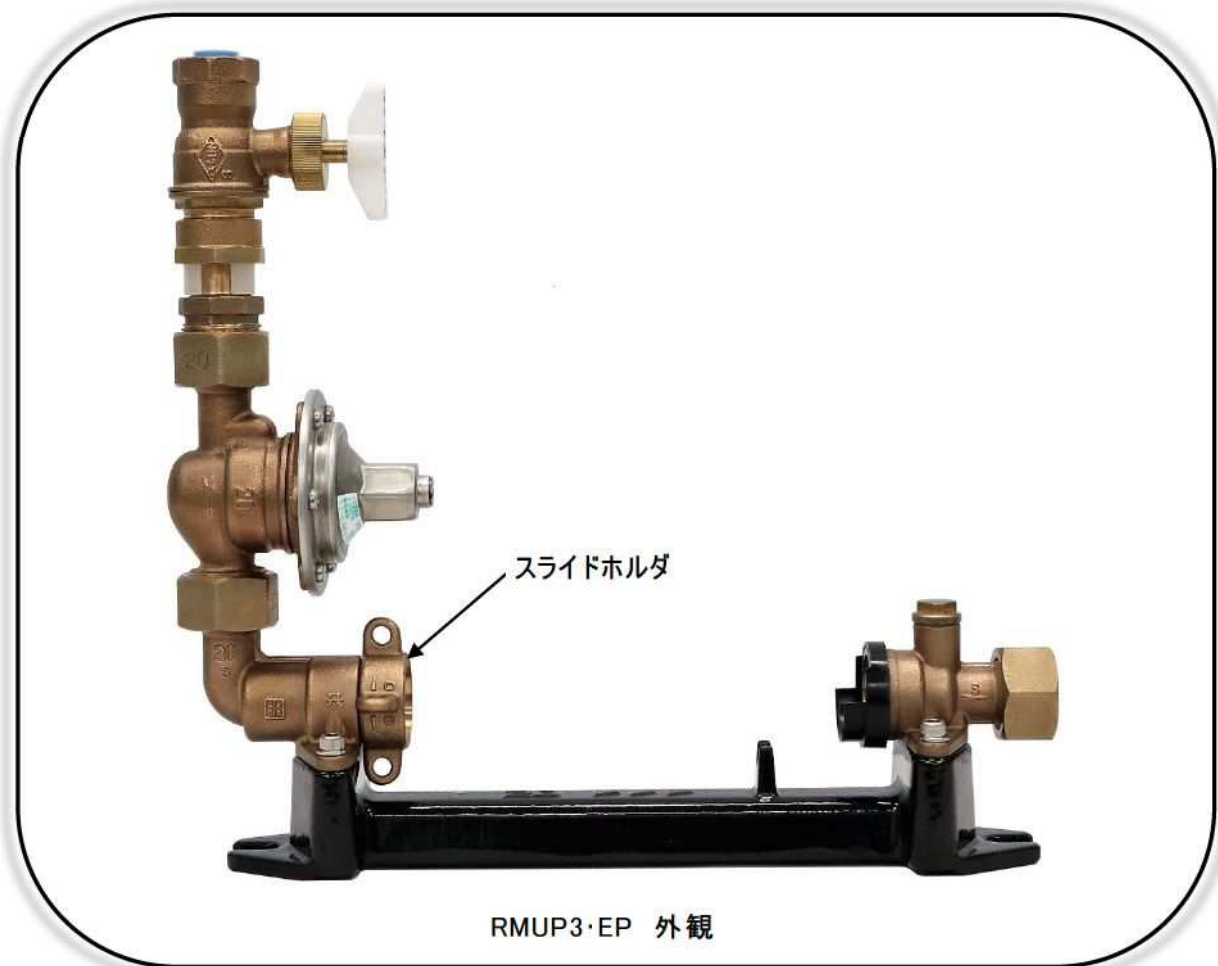
4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて(○印)、ロックナットを矢印のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順

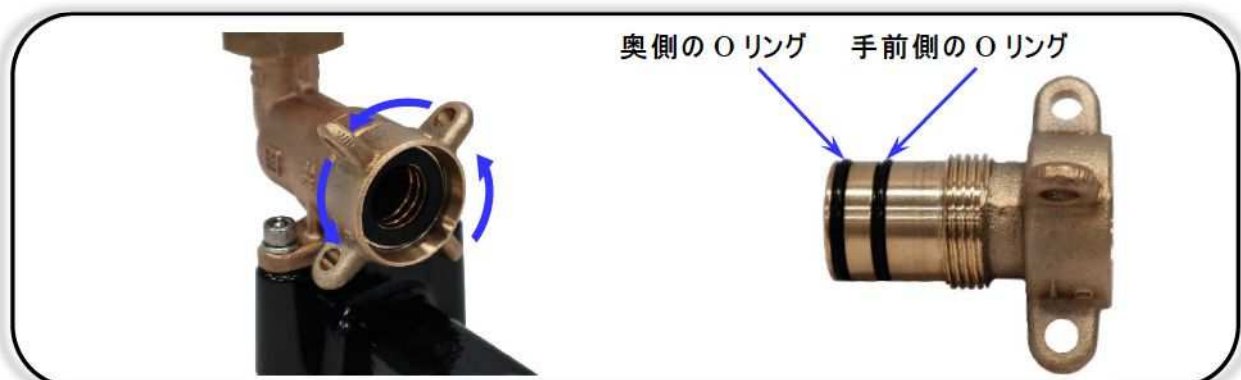
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP3・EP」で行っていますが、RMUP3・PK、RMUP3・OR、SMUP・EP、SMUP3・PK、SMUP3・OR も同様の手順で交換できます。

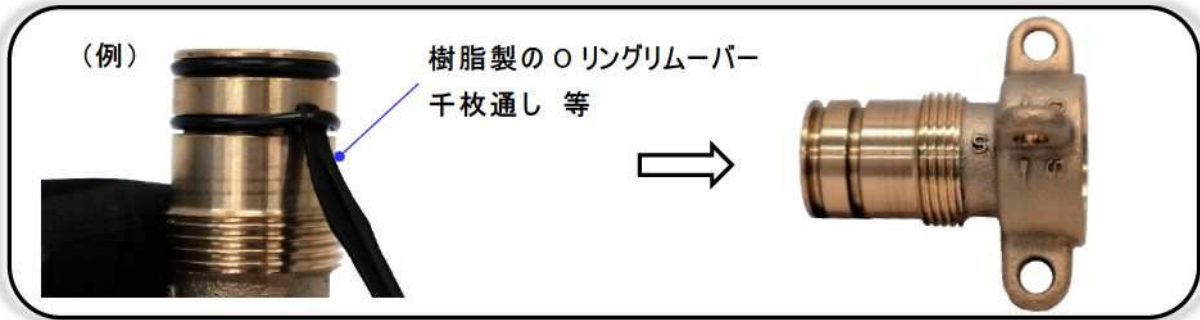


交換手順

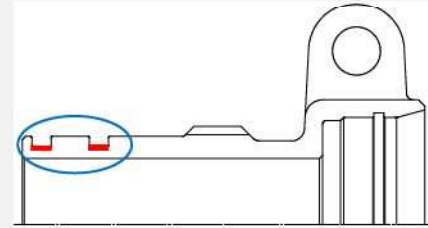
1. スライドホルダを矢印の方向へ回してねじの嵌合を外し、スライドホルダをゆっくり引き抜く。



2. 先端が尖っているものを用いてOリング(2本)を外す。手前側のOリングから外すと外し易い。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中○印内の赤太線面に傷つかないように注意する。
 スライドホルダを落とさないように注意する。
 落として変形すると、作動不良や漏水の原因になります。



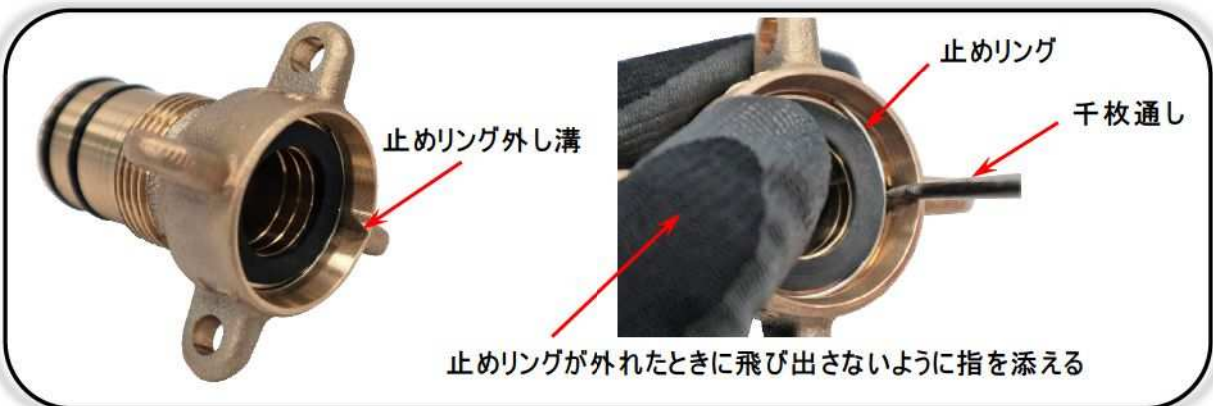
(注) Oリング止水面に付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等で)拭き取ってください。

3. 新しいOリング(2本)にグリスを塗り、Oリング溝に入れて指でなぞりながら入れ込む。
 奥側のOリングから入ると、入れ易い。

呼び径	規格	呼び番号
13,13L	JIS B2401-1	P-16
	JASO F404	2016
20	JASO F404	2023
25S,25	JASO F404	2030

4. 一次側受口部のOリング交換

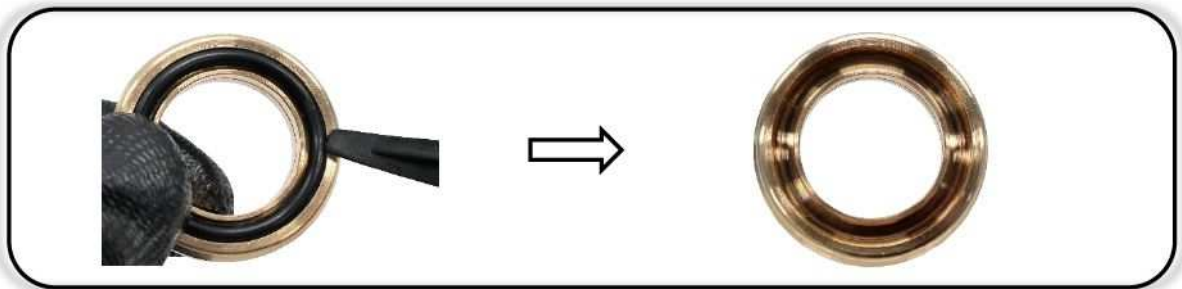
スライドホルダの止めリング外し溝に千枚通しやΦ1mm程度の針金等を入れ、手前にこじるようにして止めリングを外す。



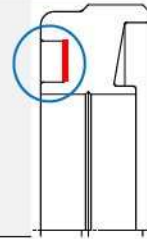
5. 一次側受口の通水部に指を入れて、スライドホルダから一次側受口を引き抜く。



6. スライドホルダの Oリングと同様に、先端が尖っているものを用いて Oリングを外す



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
 ○印内の赤太線面に傷つかないように注意する。
 一次側受口を落とさないように注意する。
 落として変形すると、作動不良や漏水の原因になります。



(注) Oリング止水面に付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等で)拭き取ってください。

7. 新しい Oリングにグリスを塗り、Oリング溝に入れて指でなぞりながら入れ込む。

スライドホルダのOリングと共通サイズです。

呼び径	規格	呼び番号
13,13L	JIS B2401-1	P-16
	JASO F404	2016
20	JASO F404	2023
25S,25	JASO F404	2030

8. 一次側受口を外したときは逆の手順で、小径側をスライドホルダに真っすぐに奥まで入れ、止めリングを溝に入れる。



9. スライドホルダを外したときは逆の手順で、スライドホルダの O リングが一次側キャッチャの内ねじ部に接触して傷がつかないように、慎重にスライドホルダを一次側キャッチャにはめ込み、ねじが嵌合したら手順 1 とは反対方向にスライドホルダを手で回し、止まるまでねじ込んで完了。